

# 純生産額（従業者 1 人あたり） 4,154 千円

## 基礎となるデータ

資料：内閣府経済社会総合研究所HP <http://www.esri.go.jp/>  
 資料：岩手県総合政策室 岩手県の市町村民所得（平成 13 年～平成 15 年）  
 資料：岩手県総合政策室 平成 16 年度岩手県県民経済計算市町村民所得年報

- 平成 16 年滝沢村純生産額 90,343,955 千円
- 平成 16 年滝沢村就業者数 21,751 人

## 算 出 式

- ・市町村純生産額 = 各産業（事業所）の生産額 - 生産に要した経費（物的経費）
- ・従業員 1 人あたりの純生産額 = 市町村純生産額 ÷ 就業者数

## 指標の表す意味

市町村内純生産とは、一定期間に市町村内の経済部門の生産活動によって新たに生み出された価値（付加価値）を表したものです。

建物や機械設備など再生産可能な有形固定資産は、生産に使用する過程で年々価値が減少していくものですが、この価値の減少分（固定資本減耗）を含んで把握したものが国で主に使用する「総生産」であり、控除して把握したものがここで用いている「純生産」となります。このため、この2つの数値は全くのイコールとして用いることはできません。

## 指標の重要性

私たちの経済活動は、生産（付加価値）⇒分配（賃金、地代・利子、利潤）⇒支出（消費、投資）という循環を繰り返しています。これは、同一の価値を異なった側面からとらえているので、概念上の調整を加えると、生産＝分配＝支出という関係が成り立ちます。これを、三面等価の原則と言います。ここにおいて、私たちは経済活動を営むことにより、財貨・サービスなどを生産し、新たな価値（付加価値）を作り出しているわけですが、その新たな価値を表したものが、「市町村純生産」です。つまり、この付加価値を計ることは、年間を通じての経済活動の成果を図る重要な指標となります。

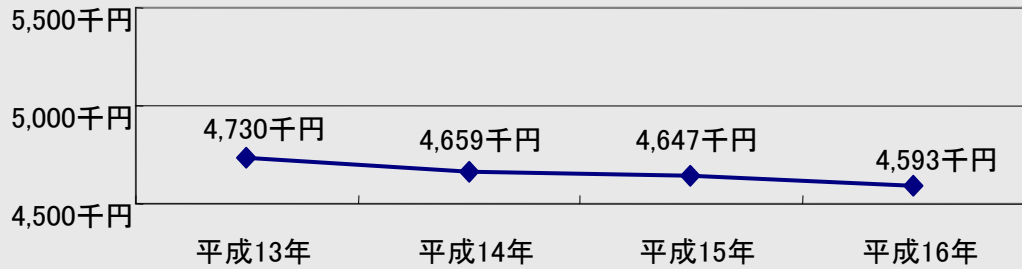
## 全国 の推移



資料：内閣府経済社会総合研究所HP <http://www.esri.go.jp/>

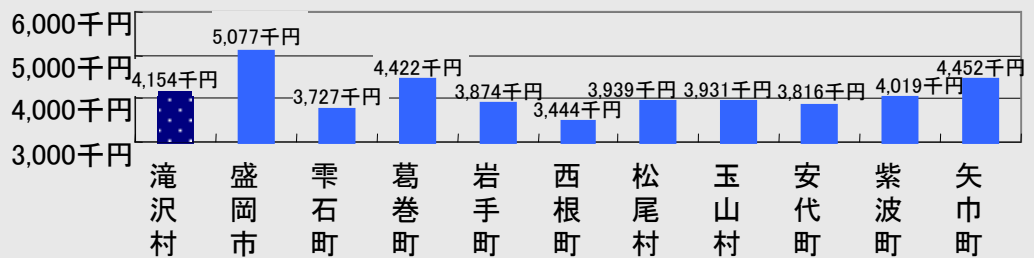
- 平成 16 年全国純生産額 370,646,209 百万円
- 平成 16 年全国就業者数 62,448,384 人

## 岩手県の推移



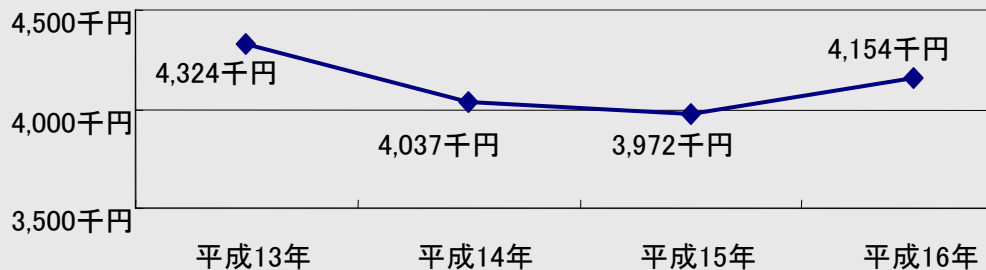
資料：岩手県総合政策室 岩手県の市町村民所得（平成13年～平成15年）  
 資料：岩手県総合政策室 平成16年度岩手県県民経済計算市町村民所得年報  
 ▶ 平成16年岩手県純生産額 3,298,009,302千円  
 ▶ 平成16年岩手県就業者数 718,008人

## 近隣市町村との比較



資料：岩手県総合政策室 平成16年度岩手県県民経済計算市町村民所得年報

## 滝沢村の経年比較



資料：岩手県総合政策室 岩手県の市町村民所得（平成13年～平成15年）  
 資料：岩手県総合政策室 平成16年度岩手県県民経済計算市町村民所得年報  
 ▶ 平成16年滝沢村純生産額 90,343,955千円  
 ▶ 平成16年滝沢村就業者数 21,751人

## 動 向

全国における従業者1人あたりの純生産額は、平成13年から平成16年にかけて徐々に増加傾向にあるものの、岩手県においては減少傾向にあります。また、滝沢村においては、平成13年から減少傾向にありましたが、平成16年は4,154千円に伸びており、近隣市町村の中では中位に位置しています。

## 村の対応

村では現在、盛岡西リサーチパークへの誘致促進をはじめ、既存企業の拡張等への側面的支援や土地利用との整合性を図りながら、村内における雇用の場の確保および産業振興を図っています。今後も継続して、各関係機関とのネットワークを活かしながら、企業誘致や雇用の場の確保を推進していく必要があります。